

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>法人としての理念に沿って職員に周知し、理念に掲げるサービス提供の実現を目指してケアにあたっています。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>採用時には理念についても説明を行い、理解をして頂けるように確認をしている。また、日々目につく場所への掲示としてスタッフルームに掲示を行い、更に、職員にはカードサイズの携帯用の理念カードを携帯している。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>契約の際には、契約者に対して理念の説明を行い理解を得る努力をしている。また、玄関ホールにも掲示しており、目につく場所への掲示をしている。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>住宅密集地に立地しており、常日頃より顔を合わせた際には挨拶を交わすことは欠かすことのないように職員に対しても働きかけ、そのようにしています。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>地元自治会の盆踊り大会へも入居者を含めて参加している。また、ケアケア交流講座も開催しています。</p>	○	<p>今後は積極的に地域との関わりを持っていけるように検討していきたいと思います。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>ケアケア交流講座開催を行っています。また、ヘルパー養成の実習の受入れ、高校生のインターンシップの実習の受入れも行っていきます。</p>	○	<p>現在のところ不十分なところがまだある為今後は積極的に地域との関わりを含めて貢献できるよう検討していきたいと思っています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価の意義については全職員が理解に努めて取り組み、評価を活かせるように努めていく。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在は市職員、自治会会長、包括支援センターケアマネ、ご家族、隣接する特養施設長、などの構成において定期的(2ヶ月毎)に運営推進会議を実施している。この中で意見や要望を聞きながらサービスの向上に努めている。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	定期的実施している市内GH連絡会などの場において市担当職員も交えて情報交換を行ったりしています。また、何か確認事項があれば随時市へ出向きの担当者に確認するようにしています。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	個人情報保護の取扱いについては契約時に説明したうえで同意書を頂いている。成年後見制度についても必要に応じて対応できるようにしている。また、玄関ホールに成年後見制度についてのパンフレットを置いています。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	採用時の研修においても取り組んでいるが、9月より法人全体での取り組みも行っており、全スタッフが再度研修を受講するなど取り組んでいる。また、日々業務の中でも確認をしい、虐待行為が起らないようにしています。		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、一方的に説明するのではなく一章毎に質問を頂いたり確認をしながら説明を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日々の生活の中で意見などを聞けるようにコミュニケーションを多く図るように努めている。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>広報誌の送付や適宜健康状態なども含めて何かあった際にはその都度報告を行っている。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関には相談などを受付ける為の受付箱を設置している。また、契約の際には苦情受付体制についての説明も行い、玄関の目のつく場所にフロー図を掲示している。更にご家族様へアンケートも実施している。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営方法、職員の採用や新規入居者などについて職員の意見を聞くなどして決定するように努めています。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>入居者の生活活動時間に合わせた勤務体制として対応している。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員配置は各ユニット間の移動なども行わず、馴染みの関係を崩さないように配慮している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	日々の業務の中でもその都度指導をするようにしている。また、法人内において経験年数に応じた研修も実施されており、参加が出来るように配慮し、外部研修にも参加を促している。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	事業所としては、市内のGH連絡会及び管内の広域連絡会に入会しており、研修会や会合に参加し様々な情報・意見交換などを行っています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	共済会にも入会しており、福利厚生にも配慮している。法人独自でも福利厚生も行われ職員同士でのサークル活動希望には補助金の支援も行っています。また、福利厚生費を支給しての親睦会を開催したりもしています。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	各種資格取得に対しての支援を行ったり、各種研修の情報を提供し、参加希望があった際には希望に添えるよう支援するように努めています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に事前訪問を行ったり、ライフヒストリー用紙などにより今までの生活などについての情報を得たり、ご家族からも要望などを聞き入れケアプランに盛り込むようにしている。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	電話による見学相談など積極的に受け入れをし、相談に応じています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談に来られた際には、入居希望者の置かれている状況などを勘案して併設している小規模多機能事業所も含めて他のサービスを紹介するようなこともしています。</p>		
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>相談を受けた際には入居を希望されるご本人に対しての見学も勧め、実際に事業所へ来ていただけるように働きかけをしています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>すべての事に介護するのではなく、食事の準備や配膳などを職員と共にしたり、清掃なども一緒に行うなどしています。</p>		
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様の意見や気持ちも取り入れられるように面会時にはコミュニケーションを多く図り、様々な情報も提供して頂けるように努めています。</p>		
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>面会時や電話などでも関係を築きあげられるように努めています。また、定期的な広報誌の送付により生活の様子がわかって頂けるようにも努めています。</p>		
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>知人などからの面会希望時などには拒否をするような事はせずに快く受け入れるようにしています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	生活の中からお互いの折り合いなどを観察しながら、リビング内での位置関係なども含めて考慮して支援できるように努めています。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	現在のところ取組の実績はありません。	○	今後は退居後の方への支援などを検討していきたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	初期のアセスメントから一人ひとりの生活スタイルをご家族やご本人から聞き取り、ケアに反映できるように努めている。また、日々の生活の中からもご本人の思いなどを汲みとれるに努めています。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントにより生活スタイルを把握できるように努めながら、日々の生活の中からも把握できるように努めています。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の生活の中から現状の生活を把握できるように、ケース記録・排泄記録などを元にして一人ひとりの生活スタイルの把握ができるように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	計画の見直しの際にはご本人に要望等を聞くように努めています。また、ご家族からも要望、意見を確認し、スタッフの意見も取り入れてのケアプランとなるように努めています。	○	入居時についてはご家族に対して直接要望等を聞いていますが、見直しの際には電話等で確認している為、今後は事業所に来て頂いての話し合いの場を設けられるようにしていきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	生活状況・状態に特に変化がない場合は原則三か月毎の見直しとし、特別に変化があった場合は随時見直しをかけられるようにしています。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別に排泄記録、ケース記録などを作成しながら見直しの際に活かせるようにしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	併設されている小規模多機能事業所を利用されていた利用者のご家族及びご本人の希望により当事業所へ入居されたケースもあり柔軟に支援をしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	運営推進に参加して頂いている町内会長より情報を頂き、町内会の行事などの情報をもとに盆踊りなどに参加をしたりしていますか、現在のところボランティアなどの協力はありません。	○	今後は地域行事への参加を多くできるように検討をしていきたいと思えます。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	運営推進会議の場でのケアマネジャーなどとも情報交換を行ったりしていますが、保険適用外のサービスの利用はありません。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議のメンバーとして参加をして頂いており、その際に様々な情報交換をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に。納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医の受診を継続しています。また、状態に応じて協力医療機関の受診や市内の総合病院への受診に対する支援もしています。</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>現在のところ専属により協力を頂いている専門医はいない状態ですが、入居前からのかかりつけ医のいる医療機関での受診は継続をしています。</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>非常勤であるが正看護師を配置しており、健康状態の把握に努めながら支援しています。</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院加療中は定期的にお見舞いに行く事を心掛けている。ご家族や医療機関の相談員とも連絡を取り合うように努めています。</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>現在のところ取組の実績はありません。</p>	○	<p>今後積極的に取り組みたいと考えています。</p>
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>そのようなケースは現在のところありません。</p>	○	<p>医師との連携が取れていないこと、職員への研修・知識など体制も含めて検討していきたいと考えています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>現状では取組の実施はありません。(在宅への退居は1名)</p>	○	<p>今後退居した方に対するの支援・援助を検討していきたいと思います。</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>自尊心を傷つけることの無いように一人ひとりに合わせた関わりを持ち、声掛けや話し方についても個々に合わせて行うように努めています。排泄への声掛けについても耳元で話すようにも努めています。個人情報の取扱についても職員に対しても説明と同意を取り、取扱には細心の注意を払っています。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>ご本人の意向を大切に、飲み物などを提供いたします。また、意思の尊重に努めています。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>決まった日課とはせず、個々の趣味や生活スタイルに合わせて過ごして頂けるように努めています。</p>	○	<p>特別な趣味などが無いような方の為のレク的なものを今後検討していく必要があると思います。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>服装などについては一切制限なども無く自宅より好きなものを持ち込んで頂いています。また、美容室などはご家族の方と一緒に行きつけの場所へ出掛けたりしています。要望によっては協力を頂いています近隣の美容室の方が来られカットをしています。パーマも可能です。</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>米磨ぎ、茶碗洗いはもとより、配膳・下膳なども一緒に行っています。</p>	○	<p>現在のところ調理に関してはほぼ職員により行っている状態であり、衛生面にも十分配慮しながら調理に関しても一緒に行えるような支援をできるように検討していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	アルコールを含めて医師からの特別な制限の指示が無い限り事業所としての制限は一切していません。また、喫煙室も用意してあります。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	おむつを常時必要とされている方に対してもチェック表などをもとにして 適時トイレ誘導を行っています。また、他の方についても適時通所の声掛けや誘導を行っています。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	基本は入居者の生活活動時間に合わせて入浴を行っている。また、併設されている小規模多機能事業所の浴室（GHより大きい）も使用させて頂き、変化を持って頂けるように努めています。	○	職員の都合による場合も無いとは言い切れない部分もあるので、今後そのような事が無いように検討していきたい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	特に消灯の時間を設けることはせず、それぞれの就寝時間を含めて生活リズムを大切にしている。リビングや自室でのテレビ鑑賞についても時間の制限せず他の入居者の方への配慮をしながら対応をしています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	初期のアセスメントの段階でライフストーリーなどの資料をもとにして生活スタイルをご家族やご本人から聞き取り、生活の中で活かせるように努めています。食器洗いや清掃などの役割分担的に行いその日の状態により行って頂いています。	○	今後更に情報収集に努めていながら、それぞれの方が張り合いがあり楽しい毎日を過ごして頂けるような支援を行えるように努めていきたい。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族とも相談をしながら高額とならない程度で所持して頂き、外出の際などに自ら支払を行っていただけるように支援している。また、自室内にそれぞれ鍵のかかる小さな金庫も用意してあります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天候をみて、また、ご本人の意見も聞きながら散歩をしたりドライブへ出掛けるように努めています。	○	外食などの機会をまだ設けていない為今後は個々の嗜好・意見も聞きながら検討していきたいと思います。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ご家族も一緒に出かける機会を作り行っています。(紅葉狩りなどの実施)	○	ご家族との関わりとしては不十分な面がまだありますので、今後の課題として積極的に取り組んでいきたいと思います。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の使用は一切制限もせず、コードレス電話を使用し、部屋での通話も可能な状態です。また、手紙についても出来る限りの支援をしています。(代筆など)		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時に使用できる「展望サロン」を用意しており、居室以外でもくつろげる空間があります。また、併設しています小規模多機能事業所の一部に「交流サロン」というスペースがありその場所も利用できます。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・高齢者虐待及び身体拘束については研修も実施し、常日頃から意識を持ちながらケアにあたっています。また、不適切なケアが行われていないかどうかについて事例を出しあい、それらが身体拘束へととなっていないのかなども含めて考えています。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	・玄関の施錠は夜間のみであり、日中の時間はの鍵の施錠は一切していません。居室については入居者の意思にまかせています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>居室はそれぞれの入居者の家であることを前提にした認識をスタッフは持ち、自室内に入室する際は当然の事ながらノックを行い入室し、プライバシーに配慮しています。</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>食器洗剤、洗濯洗剤、せっけんなどは日常必要な物でもありそれぞれ日常生活空間の中での取扱をしている。夜間に関しては包丁も含めて施錠した場所での管理としています。</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>ヒヤリ・ハットを報告を行いながらそれぞれの方への対応を行い、事故防止に努めています。(居場所確認表などの活用)</p>		
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>救命講習の受講をしたり、看護職員からの研修も受けています。</p>	○	定期的に行い、知識の向上に努めていきたい。
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>災害時のマニュアル作成(地震・火災)をし、緊急連絡網も整備し訓練も実施しています。また、近隣老人福祉施設との協力体制も取っています。</p>		
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>入居契約時にも説明をしていますが、その都度必要に応じて説明できるようにしています。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々の生活状態を把握した上で観察しながら特別な変化があれば都度連絡を取り合い対応をしています。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個々の内服薬の一覧も作成されています。また、服薬量についても同様に一覧を作成し、薬局から頂いている薬情報についても個別に整理しスタッフが把握できるように努めています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	個々の水分摂取量の把握に努め、繊維質が多く取れるように献立にも反映しています。また、状況みて腹部マッサージも行っています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後のうがいを促し、就寝前は義歯を外して頂き、消毒をするようにしています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士の立てた献立により栄養状態の保持に努めています、また、毎日の食事摂取量や水分量を記録し把握できるようにしています。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	マニュアルを作成し、看護師からの研修を受けたり予防に努めます。スタッフはもとより入居者、ご家族などの面会者に対しても通年を通してうがい・手洗いをして頂いています。インフルエンザ予防接種についてもご家族の同意を頂いたうえで行っていきます。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食中毒予防マニュアルを元にして衛生管理に努めています。食材は前日納入を大原則として業者にも協力を頂きながら行っています。また、業者から新鮮な海産物の仕入れ情報を頂き旬の物、新鮮な物を納入して頂けるようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p> <p>玄関まではアプローチ式として雰囲気作りも工夫をしています。また、アプローチの柱毎に一輪の花を植えたり、プランターを設置するなどしています。玄関には腰掛けもあり座りながらの靴の脱き・履きが出来るようにしています。スロープも必要に応じて取り外しの出来るものを用意して車いすもし易くなっている。</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>玄関については正面を全面ガラスとし圧迫感を無くするようにし、開放感を出しています。その他についても不快をいだけせるような環境にはなっていません。また、リビングは窓を多く配置し日中は陽射しが眩しいくらい入り明るい。</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> <p>展望サロンが建物奥に配置され、ソファとテーブルも配置し、いつでも自由に使用できるようになっています。また、窓を多く配置してあり開放感もあり且つ景色も楽しめるようになっています。</p>		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>自室内には基本的に自宅で使用していた馴染みのあるタンス、椅子などを持ち込んで頂くように事前に説明を行い、馴染みの物を使用して頂けるようにしています。また、リビングなどにも真新しい物は配置せず昔を思い出して頂けるような物を配置するように努めています。</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p> <p>各部屋、リビングには湿度・温度計を設置し管理し、定期的及び必要に応じて入居者に確認承諾を得た上で換気をし、極端に室温が下がらない程度にするなどしています。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> <p>建物内部の構造も複雑にならないようにし、当然ではあるが各所に手すりを設置し、段差もありません。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>トイレや浴室などは表示をしている。また個々に合わせて大きさを変えたり、対応を図っています。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>中庭には花壇作りが出来る場所があり春には入居者の方と花壇作りをしています。</p>		

V. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ③

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない ②

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 開設して間もなくまだまだ取り組んでいく部分は沢山あると思います。今後もスタッフ同士の意見交換・外部の研修等を行いながら質の向上につなげていきたいと思えます。ご家族の皆様も多くの面会があり、良好な関係が保てていると感じています。これも、面会時での配慮や広報誌などが結果として現れてきたのだと思っています。今後の検討課題ではご家族を含めた花見や焼肉パーティー、クリスマス会等の行事を増やしていき今以上にご家族との交流を図りながらより良い関係作りをしていきたいと思えます、ご家族とのより良い関係構築が出来ていく事が職員の励みにもなるかとも考えます。これからも様々な検討をしていながら、入居者の皆さんが安心・安全・快適に暮らして頂けるように支援をしていきたいと思えます。